

## 日本語（聴解・会話）

森本 郁代（関西学院大学法学部）

## 1. 日本語（聴解・会話）の到達目標

留学生が大学生活及び社会に出てから必要となる対話コミュニケーション能力の向上を目指す。グループでの議論とプレゼンテーション活動を通して、(1)自分の意見や疑問を適切に相手に伝える力(2)相手の意見や疑問を傾聴する力(3)グループ全員で協力して議論を適切かつ合理的に進める力 の3つの力を養うことを目的とする。

## 2. 2014 年度の授業内容

上記のような到達目標を立てたが、実際には受講生は1名のみであったため、毎回受講生と相談をしながら授業を進めた。具体的には、インターンシップ報告会のスピーチの原稿のチェックと発表練習、ゼミ発表の練習、西宮国際交流協会主催のスピーチ大会の原稿のチェックと発表練習などである。

## 3. 日本語（聴解・会話）の成果と課題

今年度の受講生は非常に意欲があり、マンツーマン指導の利点を自ら最大限に活用していた。その一方で、指導する立場から今年度の授業を顧みると、シラバスの内容がグループ活動を前提としていたため、当初予定していた授業活動を実施することができなかった。選択科目であるため、受講生の増減はふたを開けてみないとわからない。今回は受講生が1名のみだったため、相談しながらマンツーマンで指導をしたが、2名から3名といった人数でも対応できるような到達目標とシラバスを計画する必要があることを痛感した。

## 4. 今後に向けて

留学生が受講しやすい開講曜日・時限に開講したり、選択科目であっても受講したいと思えるような魅力的なシラバスにすることが今後の課題である。